



防衛省東北防衛局広報紙

# 東北のかなめ

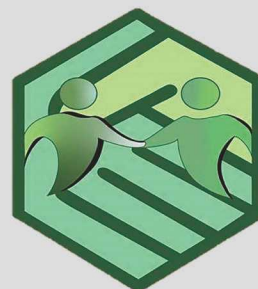
vol.62 (2023.10)



写真提供：一般社団法人相馬野馬追  
相馬野馬追神旗争奪戦

## 【CONTENTS】

- ✓ 沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施
- ✓ トピックス
  - ・田植え体験日米交流を通訳支援
  - ・創立記念行事などで政策広報
  - ・令和5年度 優秀工事等顕彰
  - ・陸奥湾掃海訓練
  - ・三沢市、東北町への出向者紹介
  - ・令和5年版 防衛白書
- ✓ ようこそわが街へ（第32回）～福島県南相馬市～
- ✓ 防衛関連企業シリーズ⑮：株式会社鶴見精機白河工場
- ✓ 人事異動（新幹部紹介）



# 沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施

王城寺原演習場（宮城県）において、令和5年5月17日から6月11日まで、沖縄県に駐留する米海兵隊による実弾射撃移転訓練が行われました。

東北防衛局は、同演習場内に「現地連絡本部」を設置し、最大約40人で、訓練部隊に対する支援や関係自治体などへの情報提供、演習場周辺地域の巡回警備などを24時間態勢で行いました。



現地連絡本部の開設  
(5月17日)



関係自治体などの関係者に訓練を公開  
(5月26日)

射撃訓練は、事故などもなく無事に全日程を終了しました。

訓練を終えた米海兵隊は、6月8日、地域貢献や交流活動の一環として、おおひら万葉こども園（宮城県大衡村）を訪問し、園児とのスポーツ交流会などのボランティア活動を行いました。



園児とのスポーツ交流会



ウッドデッキのペンキ塗り

## 【沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施】

沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた155ミリリゅう弾砲による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練については、実施の都度、県道104号線の交通規制が行われることや訓練の危険性などを理由として、沖縄県等はその取り止めを強く要望していました。

このような要望を踏まえ、沖縄県の負担を軽減することを目的として、平成9年度からキャンプ・ハンセンでの同訓練を取り止め、本土5か所の演習場（矢臼別演習場（北海道）、王城寺原演習場（宮城県）、北富士演習場（山梨県）、東富士演習場（静岡県）、日出生台演習場（大分県））において同訓練を分散・実施することが、日米間で合意されました。

同訓練の分散・実施については、5か所の演習場の関係自治体からの理解を得て、平成9年度から行われています。

## 田植え体験日米交流を通訳支援

6月6日、青森県つがる市立車力小学校の5年生の田植えの体験授業に、米陸軍車力通信所の軍人等が地域との交流を図るためボランティアで参加し、東北防衛局は通訳支援を行いました。

一緒に田植えをした児童は、「英語で話しながら一緒に田植えができて楽しかった。」、参加した米軍人は「初めて田植えをしたが、とてもリフレッシュ出来た。」と話していました。

車力小学校と米陸軍車力通信所は、この後も、かかし作り、稲刈りと交流を深めていく予定です。



## 創立記念行事などで政策広報

東北防衛局は、防衛省の政策や自衛隊の活動について、地域の方々のご理解をいただくため、駐屯地の創立記念行事などに、広報ブースを開設しています。

広報ブースでは、各種パンフレットを配布するほか、昨年12月に策定された「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」に関するパネルを展示するとともにクイズ形式の問題を用意し、PRに努めています。



第9師団・青森駐屯地記念行事（6月11日）

## 令和5年度 優秀工事等顕彰

東北防衛局が発注した防衛施設の建設工事等の中から令和5年度の優秀工事等の顕彰企業等を決定しました。

この顕彰は、目的物の出来形や品質が優れ他の模範となるにふさわしい工事等を顕彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め、建設工事等の品質確保等を図ることを目的としています。

顕彰種別	受注者者	工 事 名
優秀工事	日本住宅株式会社 (岩手県盛岡市)	海自八戸(3) 宿舎改修建築その他工事
	株式会社青北建設 (青森県三沢市)	三沢(3) 宿舎改修建築その他工事
	多田建設株式会社 (東京都江東区)	仙台(3) 宿舎改修建築その他工事
	佐藤工業株式会社 東北支店 (宮城県仙台市)	大滝根山(3補) 隊庁舎等改修建築その他工事
	株式会社シマ 東北支店 (宮城県仙台市)	福島(3) 庁舎改修建築工事
	有限会社中村建設 (青森県三沢市)	三沢(2) 舗装改修等土木その他工事
	株式会社菊地建設 (岩手県宮古市)	山田(3) 宿舎公共下水接続土木その他工事
	住友電設株式会社 東北支店 (宮城県仙台市)	神町外(30補) 庁舎A新設等電気その他工事

## 陸奥湾掃海訓練

7月16日から28日までの間、青森県陸奥湾において令和5年度機雷戦訓練及び日米印伊共同の掃海特別訓練が実施されました。この訓練は、海上自衛隊の機雷戦能力の向上と参加国海軍との連携の強化を目的としたものであり、海上自衛隊の艦艇13隻などが参加しました。

この訓練は、訓練海面内での漁業の操業を制限して行われるため、東北防衛局は、漁業者の漁業経営上の損失の補償を行っています。



写真提供：海上自衛隊掃海隊群

## 三沢市、東北町への出向者紹介

東北防衛局は、青森県三沢市と継続して人事交流をしていますが、今年度、青森県東北町とも人事交流を始めました。今年の春、三沢市及び東北町に出向した2名の職員を紹介します。

### 【三沢市政策部基地渉外課 副参事兼課長補佐 竹内 一司（たけうち かずし）】

私は、政策部基地渉外課に所属し、基地対策業務に携わっています。三沢市で働いてみて、各課ごとに消耗品を発注するなど、東北防衛局との違いが色々あり、興味深く思いました。三沢市では、選挙の準備など、自治体特有の業務もあり、一度は経験したいです。今後は、三沢市の立場を理解し、業務に役立てたいと考えています。

三沢市は、ごぼうの生産日本一で、市長室へのお客様にもごぼう茶をお出ししています。水産物では、北寄貝のほか、ひらめも良質のものがあがりますので、ぜひご賞味ください。



### 【東北町建設課 主任主査 渡邊 宗（わたなべ そう）】

私は、建設課に所属し、主に町営住宅の管理・保全を担当しています。東北町での仕事は、町民の方と直接やり取りをすることが多数を占めるため、その意見に寄り添い、不公平がないよう努めることが最重要だと感じています。地方自治体の業務について、まだまだ勉強不足ですが、この機会に国の業務では触れることがない経験を多く積みたいと思います。

東北町は、温泉街であるため宿泊施設が豊富であり、上北道や下北道といった自動車専用道路により下北半島方面へのアクセスが非常に容易です。雄大な緑の大地と県下最大の小川原湖を有する東北町へ、是非、一度お越しください。



## 令和5年版 防衛白書

防衛白書は、わが国の現状と課題およびその取組について広く内外への周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行されています。令和5年版防衛白書は、主に令和4年4月から令和5年3月の間の防衛省・自衛隊の活動や国際情勢を分かりやすく多方面に紹介しています。

防衛白書は、書籍として販売されるほか、防衛省ホームページにおいて、無料ダウンロードや閲覧もできます。また、若年層向けにわかりやすく編集した「はじめての防衛白書」もホームページで公開しています。

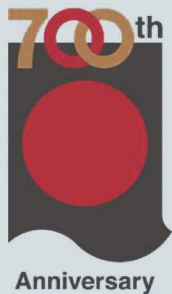




一千有余年の歴史を経て、  
今なおいきづく伝統の祭。

### 【相馬野馬追 (そうまのまおい)】

福島県相馬地方で3日間にわたり、勇壮華麗にして豪華絢爛に繰り広げられる国指定重要無形民俗文化財。相馬地方各地から集結した総勢約400騎の騎馬武者が、威風堂々に進軍する「お行列」、先祖伝来の旗指物(はたさしもの)をなびかせ、人馬一体となって疾走する甲冑競馬(かっちゅうけいば)、手綱捌きも鮮やかに、打ち上げられた御神旗を奪い合う、迫力の神旗争奪戦(しんきそうだつせん)など、観る者を圧倒する壮大なお祭りです。



### 【奥州相馬氏下向700周年】

令和5年(2023年)は、初代相馬氏から数えて6代目となる相馬重胤公が、現在の千葉県から居を移して700年の節目の年となります。南相馬市では、700周年を記念し、特設サイトや記念動画の制作等を行いました。

700周年  
特設サイト



スペシャル  
ムービー



### 【福島ロボットテストフィールド】

物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主対象に、実際の使用環境を拠点内で再現しながら研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行うことができる、世界に類を見ない一大研究開発拠点です。



### 【烏崎海浜公園】

朝焼けの中、馬が砂浜を駆ける光景が有名な海岸。サーフスポットとしても人気があり、良い波を求め、多くのサーファーで賑わっています。



南相馬市

株式会社鶴見精機白河工場は、昭和62年、福島県白河市において操業を開始し、海洋観測機器などを製造しています。

今回は、海藤敦水中測器課長と小松樹一郎品質保証部係長に、お話しを伺いました。

Q1： 白河工場では、どのような製品を製造しているのでしょうか。

A1： 白河工場では、船舶や航空機からプローブと呼ばれるセンサ部を海中に投下し、海水の温度や塩分の鉛直分布を計測する機器を製造しています。水深は、プローブの形状と重量をもとに、着水からの経過時間で算出しており、工程では、重量管理が特に重要になります。また、防衛省向けの製品として、潜水艦に向けて、海中で音を発する信号弾などを製造しています。



海洋観測機器のプローブ

【出典：株式会社鶴見精機 HP】

Q2： 海水の温度を知ることにより、どのようなことを知ることができるのでしょうか。

A2： 例えば、グリーンランド海や南極海の表層の海水は、冷却され、重い水となり、深層まで沈み込んだ後、ゆっくりと移動し、太平洋やインド洋で温められ、表層へと湧き上がります。深層大海流と呼ばれているこの海流により、極域の冷たい海水が、低緯度へと運搬されています。

海水は、大気に比べ、温まりにくく、冷めにくいという特性を持ち、熱を長時間保持することができます。海面表層の温度が0.1℃変化すると、大気温度は4.5℃変化するとも言われています。

わずかな海水の温度変化が、地球環境に大きな影響を及ぼします。海水の温度を知ることにより、地球環境の変動を知ることができ、私達は、わずかな温度変化をも計測できる製品の製造に努めています。

Q3： 白河工場で製造された製品も、世界の様々な海で利用されているのでしょうか。

A3： NASA（アメリカ航空宇宙局）は、2021年、6年間続いたグリーンランドの氷河の融解プロセスを解明するための観測プロジェクトを完了しました。グリーンランドは広大であり、また、周辺の海域は氷河に囲まれているため、船舶で立ち入ることができない場所が多くあります。プロジェクトでは、白河工場で製造された航空機から投下することができる観測機器が採用されました。



海中のプローブから観測データを伝送するワイヤ



海藤課長（右）と小松係長（左）

## 東北防衛局長 中野 裕文（7月14日着任）【前職：防衛監察本部統括監察官】

この度、東北防衛局長を拝命しました中野です。東北地方における防衛行政全般を担う拠点である東北防衛局の役割は大変重要であると認識しており、その職務遂行に全力で取り組むとともに、地域の発展に対しても可能な限り貢献してまいります。



我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、近年予見できない自然災害が頻発している現状において、地域の皆様からの防衛省・自衛隊に対する期待は非常に高まっており、その活動に対して深いご理解とご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

東北防衛局としては、地域の皆様方と防衛省・自衛隊との間のこのような関係が今後とも長く続いていくよう努めてまいりたいと考えておりますので、ご支援ならびにご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設／米軍施設**その**周辺地域**（周囲約300m）の上空における**ドローン**等の飛行は、**原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置／罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年／罰金50万円

対象防衛関係施設および飛行をさせたい場合の手続きの詳細については、防衛省HPをご参照ください。  
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



○お問い合わせ先:東北防衛局 地方調整課 022-297-8212  
三沢防衛事務所 0176-53-3118  
E-mail: drone-th@tohoku.rdb.mod.go.jp (共通)

### 周辺財産の個人・企業等に対する有償使用許可のご案内

三沢・八戸・松島の各飛行場周辺、三沢対地射爆撃場周辺及び王城寺原演習場周辺に「周辺財産」（移転補償跡地）と呼ばれる国有地があります。

土地の有効活用を図る観点から、周辺財産（移転補償跡地）の行政目的を妨げない範囲で、**個人、企業等**に対しても、**一定の条件の下、有償での使用許可を行うこと**としています。

○お問い合わせ先

東北防衛局 企画部 施設管理課緑化対策係  
電話:022-297-8213



○こちらから関連ページへアクセスできます↑

### 編集後記

「防衛関連企業シリーズ」では、自衛隊の装備品等を製造している東北地方の企業を紹介しています。

小惑星探査機「はやぶさ2」のプロジェクトに参画した日本工機株式会社白河製造所（自衛隊の弾薬類を製造）のご紹介から始まったこのシリーズも、今号で第15回を迎え、今号では、海洋観測機器などを製造している株式会社鶴見精機白河工場をご紹介しました。今後も、宇宙から海洋まで東北地方の企業の様々な技術や取組みについて、紹介してまいります。

